

セイワ ダイヤフラムエアレス

# SUPER GE シリーズ





型式 SP-60GE/SP-101GE  
SP/70GE

## 取扱説明書

ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しくお使いください。誤った取扱は機械の故障や大変な事故につながります。機械を操作する前にいつでも見られるように大切に保管してください。

この度は、SEIWA「SUPER GE シリーズ」をご選定いただきまして  
厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上又は安全上、部品の変更を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きの事がございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
- 文中の記号について

 <b>危険</b>	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性が大きい事を示します。
 <b>警告</b>	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性があることを示します
 <b>注意</b>	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します
 <b>留意</b>	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

## 目 次

安全のために	1
1 使用上の注意	3
2 仕様諸元表	3
3 各部名称・機能及び基本操作	4・5
4 作業操作手順	6
4-1 準備	6
4-2 作動確認	6
4-3 作業開始	7
4-4 中断・停止	8
4-5 洗浄・終了・手入れ	9
4-6 エアレスガンの操作	10
4-7 クランプノブの使い方	10
4-8 ノズルチップ口径とガンフィルター	10
5 保守・点検	11
5-1 オイル点検	11
5-2 ダイヤフラム交換	11
5-3 吐出弁交換	11
5-4 吸入弁の交換	11
6 トラブル対策	12
6-1 エンジン	12
6-2 ポンプ側	13
7 塗料ノズルチップ選定表	14

# 安全のために

## ⚠危険

### ●火災防止のために

- ・狭い敷地内で、引火性のある塗料(液体)を用いた塗装作業は火災や爆発の危険があります。換気の良い場所で 使用してください。
- ・本機は塗装現場から離し、引火性ガス、腐食性ガスのある場所では使用しないでください。
- ・燃料の補給は必ずエンジンを停止して行ってください。
- ・補給中は火気を近づけないでください。
- ・燃料がこぼれた時は、布等で拭き取ってください。
- ・燃えやすいものや危険物(油脂類・シンナー・火薬等)の近くでは使用しないでください。
- ・床面のしっかりした水平な場所で、建物や設備からは1m以上離して使用してください。

### ●中毒防止のために

- ・風通しの悪い場所、排気ガスがこもる場所では使用しないでください。有害な一酸化炭素がたまり、ガス中毒の危険があります。

## ⚠警告

- 非常に高い圧力で噴出する塗料(液体)は身体を傷付ける危険があります。エアレスガン、塗料ホースから漏れ出しがあった場合は直ちに作業を中止してください。
- 漏れ出している部分を手足や体で止めることは絶対にしないでください。
- 作業中スプレー口が詰まった場合絶対に覗き込んだり指で触れないでください。
- 異常を取り除く場合は必ず機械を停止させ、全ての圧力を抜いた後で行ってください。
- 人体に向けて絶対にエアレスガンの引金を引かないでください。安全の為、塗装作業を行わない時やノズルチップを外す場合は必ずセーフティロックをかけてください。
- 外観にキズ・折れ曲がり・潰れていたりする塗料ホースは破裂して塗料が吹き出す恐れがあるので使用しないでください。
- エアレスガンを改造したり安全装置(セーフティロック・安全ガード)を取り外す事はしないでください。
- 接続部は漏れがないようにしっかり締付けてください。漏れが発生した場合は、直ちに機械を停止させ、リターンコックを開き、塗料圧力を下げてください。
- 高圧力で塗料を霧化する為、静電気が発生することがあります。火花放電及び感電事故を防ぐ為、本機及びエアレスガンは塗料ホース(通電性があるもの)を通して接地してください。
- アース線はガス管へは接続しないでください。ガスによる火災、爆発事故につながります。
- 必要以上にシンナーだけの噴出は避けてください。引火すると危険です。
- 被塗装物も接地(アース)してください。静電気が被塗装物にもたまる事があります。
- 塗料ホースは専用ホース以外使用しないでください。接続不良、耐圧不足に漏れ、破裂、及び通電不良による非接地の原因になります。
- 運転中及び停止直後は、エンジンが熱くなっています。手や肌が触れないようにしてください。
- 熱いエンジンオイルが体にかかるとヤケドする恐れがありますので十分に注意してください。

## **注意**

- 雨、濡れた場所、蒸気などの湿度が多い場所での保管、使用はしないでください。感電事故、錆付きにつながります。
- 関係者以外やお子様は近づけないでください。  
誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 本機に直接塗料を吹付けたり、ゴミ、ホコリの多い場所では使用しないでください。エンジンの排熱が不完全になり故障の原因になります。
- 本機を傾けたり、立てたりした状態での使用はしないでください。エンジンの焼付や故障の原因になります。
- ホース金具の締付けはトルク 24.5N・m を超えない範囲で漏れない程度に締付けてください。強く締めすぎると金具部が損傷する恐れがあります。

## **医療処置**

- たとえどのような塗料(液体)であっても皮膚を傷付けた場合は、軽傷として扱わず直ちに医師による適切な治療を受けてください。又、どのような液体によるものかを的確に教えてください。

# 1 使用上の注意

## ⚠ 警告

### ➡ ガソリンの給油

- エンジンを必ず止め、タバコ、たき火など周囲の火気が無いことを確認し、こぼれないようにゆっくりと給油してください。こぼれた場合はきれいに拭き取り、完全に乾いてから始動させてください。
- ガソリン給油後は、タンクキャップを確実に閉めてください。ゆるんでいると運転中ガソリンがこぼれ、気化したガスにより引火する恐れがあります。

### ➡ 使用しない時や移動の時

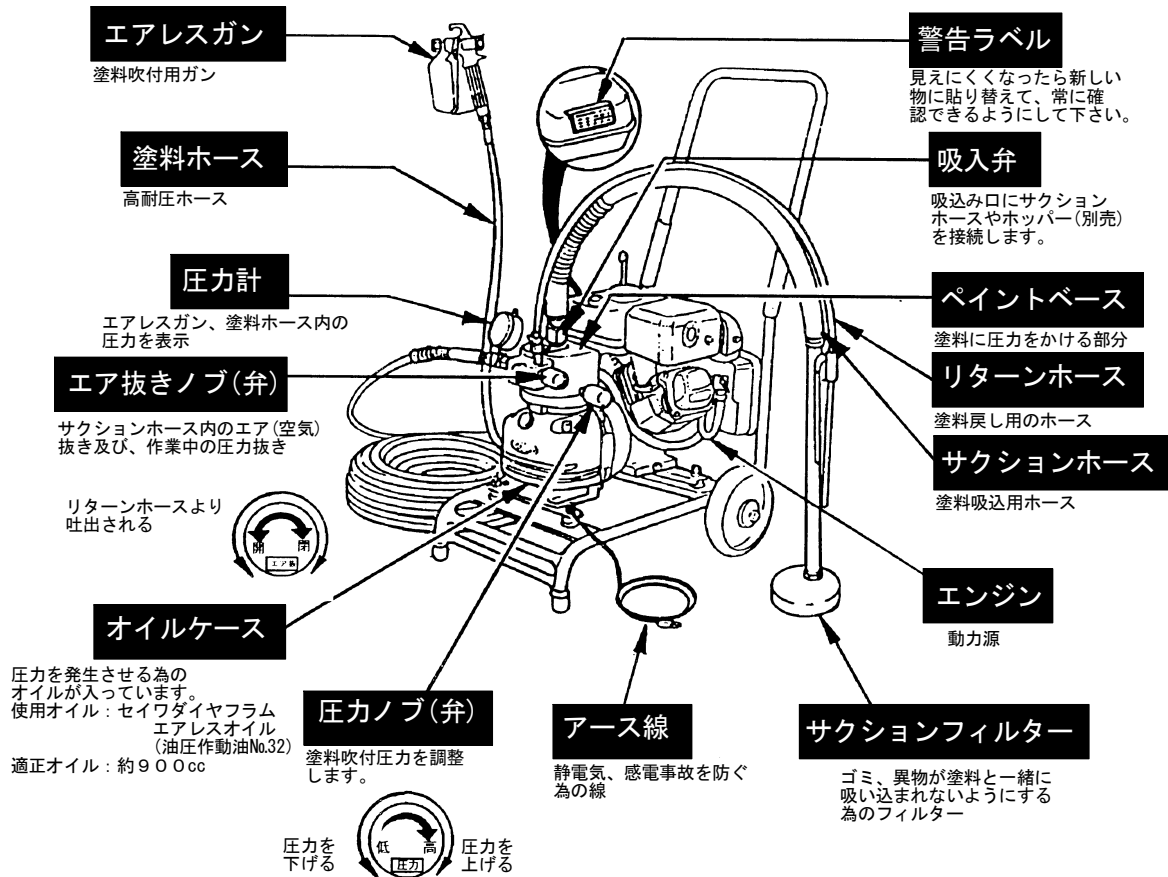
- 必ずガソリンコックを閉めてください。タンク内のガソリンがエンジン内部に流れ込み、始動できなくなることがあります。この場合、キャブレター掃除やエンジンオイル交換が必要になります。
- エンジンの取扱いについて詳しくは別冊(同梱)の「エンジン取扱説明書」をご覧ください。

# 2 仕様諸元表

型 式		SP-60GE	SP-70GE	SP-101GE
動 力 源		ガソリンエンジン(リコイル式)		
最大出力 (PS)		4. 2 (定格3. 1)		4. 9 (定格3. 9)
最大圧力 (Mpa)		2. 2	1. 8	2. 2
最大吐出量 (L/min)		6. 1	7. 2	10. 3
寸法 L×W×H (cm)		68×47×55(98)		71×52×67
重 量 (kg)		3. 9	3. 9	5. 5
セ ツ ト 内 容	本 体	付属品工具一式・圧力計付		
	Bセット	ハイフホース(1/4) 20m エアレスガン(TPG-1) タンククリーンセット(1650)	ブルーホース(3/8) 20m エアレスガン(SG-24B) タンククリーンセット(2350)	ブルーホース(3/8) 20m エアレスガン(SG-24B) タンククリーンセット(3150)
	Cセット	ハイフホース(1/4) 30m エアレスガン(TPG-1) タンククリーンセット(1650)	ブルーホース(3/8) 30m エアレスガン(SG-24B) タンククリーンセット(2350)	ブルーホース(3/8) 30m エアレスガン(SG-24B) タンククリーンセット(3150)

# 3 各部名称・機能及び基本操作

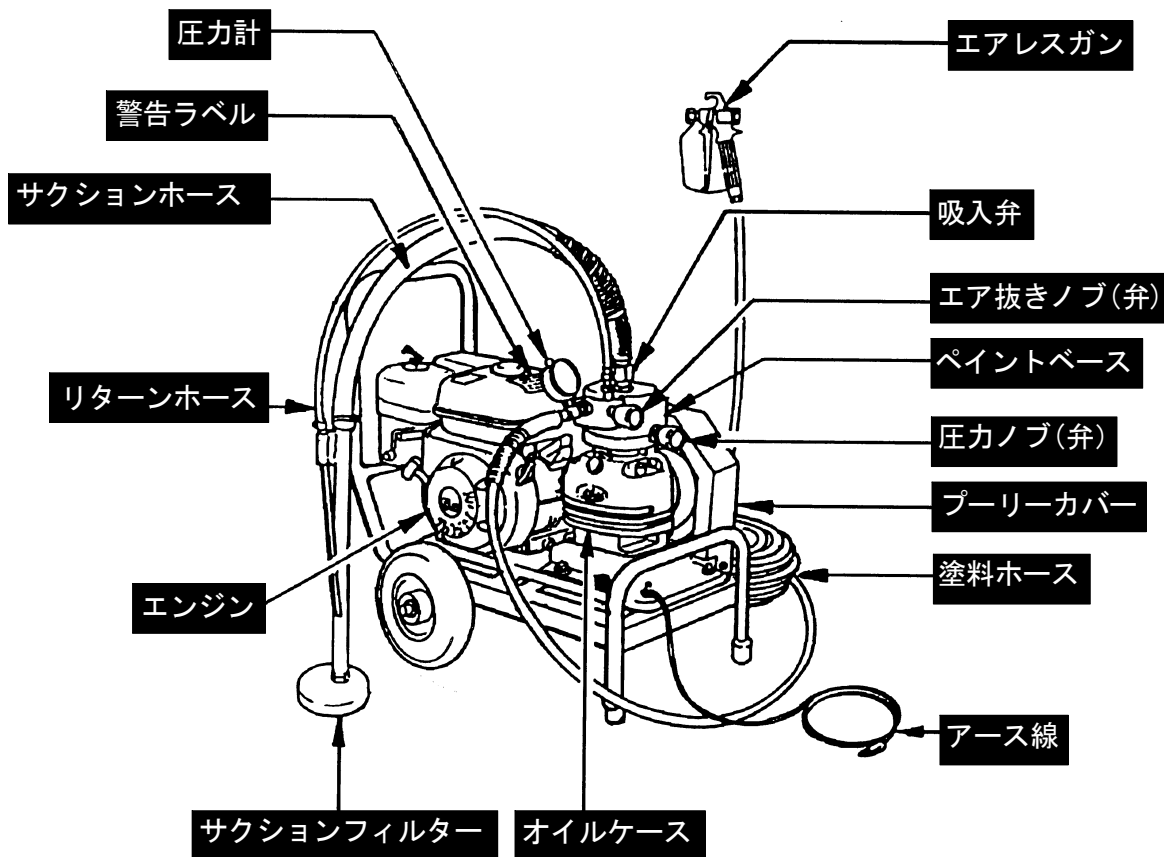
SP - 60GE/70GE



- 圧力計をぶつけたり、落としたりしないでください。表示が狂ったり、故障の原因になります。
- エア抜きノブによって圧力を調整しないでください。エア抜き弁の寿命を短くします。
- 圧力ノブは最大限以上に強く回さないでください。異常高圧により機械の故障の原因になります。

# 3 各部名称・機能及び基本操作

SP - 101GE



# 4 作業操作手順

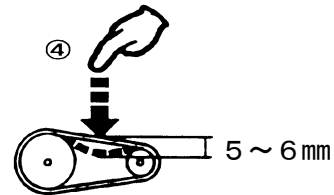
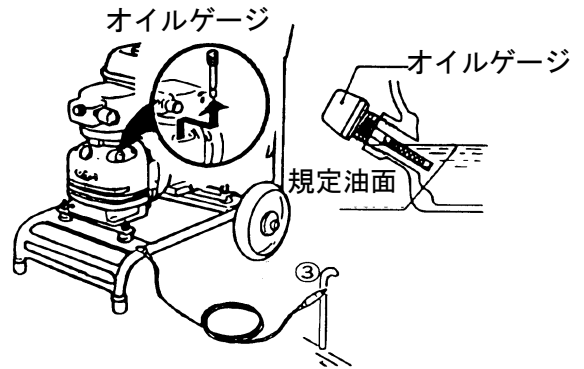
## 4-1 準備

- ①塗料ホース、リターンホース、エアレスガン、ノズルチップをそれぞれ完全に取付けてください。

### 注意

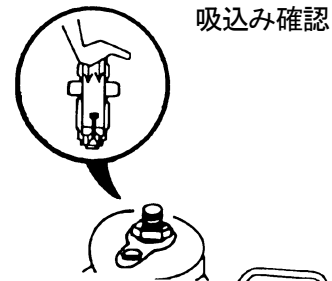
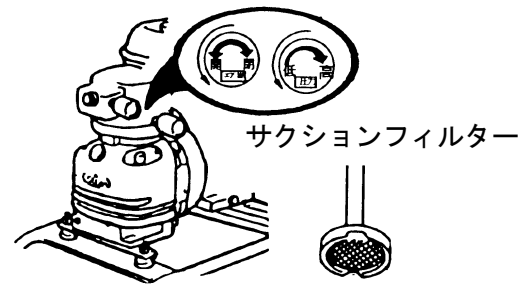
サクションホースはまだ取付けないでください。

- ②オイルゲージでオイルが入っているかを確認してください。
- ③アースを施し、燃料が入っている事を確認します。
- ④Vベルトが緩んでいたら適正な張りに調整します。  
(スーパー101GE)ベルト中央部を指いばいに押え、たわみが5~6mm位になるようにしてください。但し、運転中は絶対に行わないでください。



## 4-2 作動確認

- ①エア抜きノブを[開]側へ一杯回してあるかを確認してください。
- ②圧力ノブを[低]側へ一杯回してあるかを確認してください。
- ③エンジン始動後(P7エンジンの始動参照)圧力ノブを[高]側にゆっくり回してください。
- ④吸入口に手のひらを当て、吸込みがあるかどうか確認します。
- ⑤サクションフィルターの詰まりがないかを確認してからサクションホースを取付けてください。



### 注意

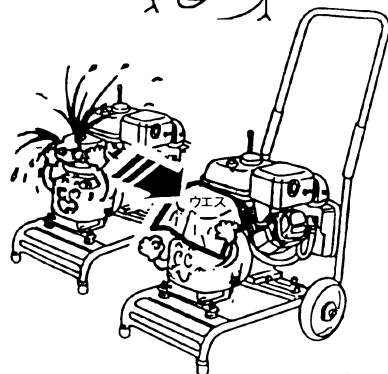
#### ◆吸入力がない場合は？◆

吸入弁内にシンナーを入れ、呼び水を行ってください。吸入弁棒を押して、固着を解除させてください。

#### ◆それでも作動音がない場合は？◆

油圧経路内にエアがたまっていることがあります。この時は圧力ノブを[低]側に戻ししばらく運転後(1~2分)[高]側にゆっくり回してください。

※この時シンナー等の呼び水がはねることがありますのでウエス等で出口を覆って、顔や衣類にかからないようにしてください。





# 4 作業操作手順

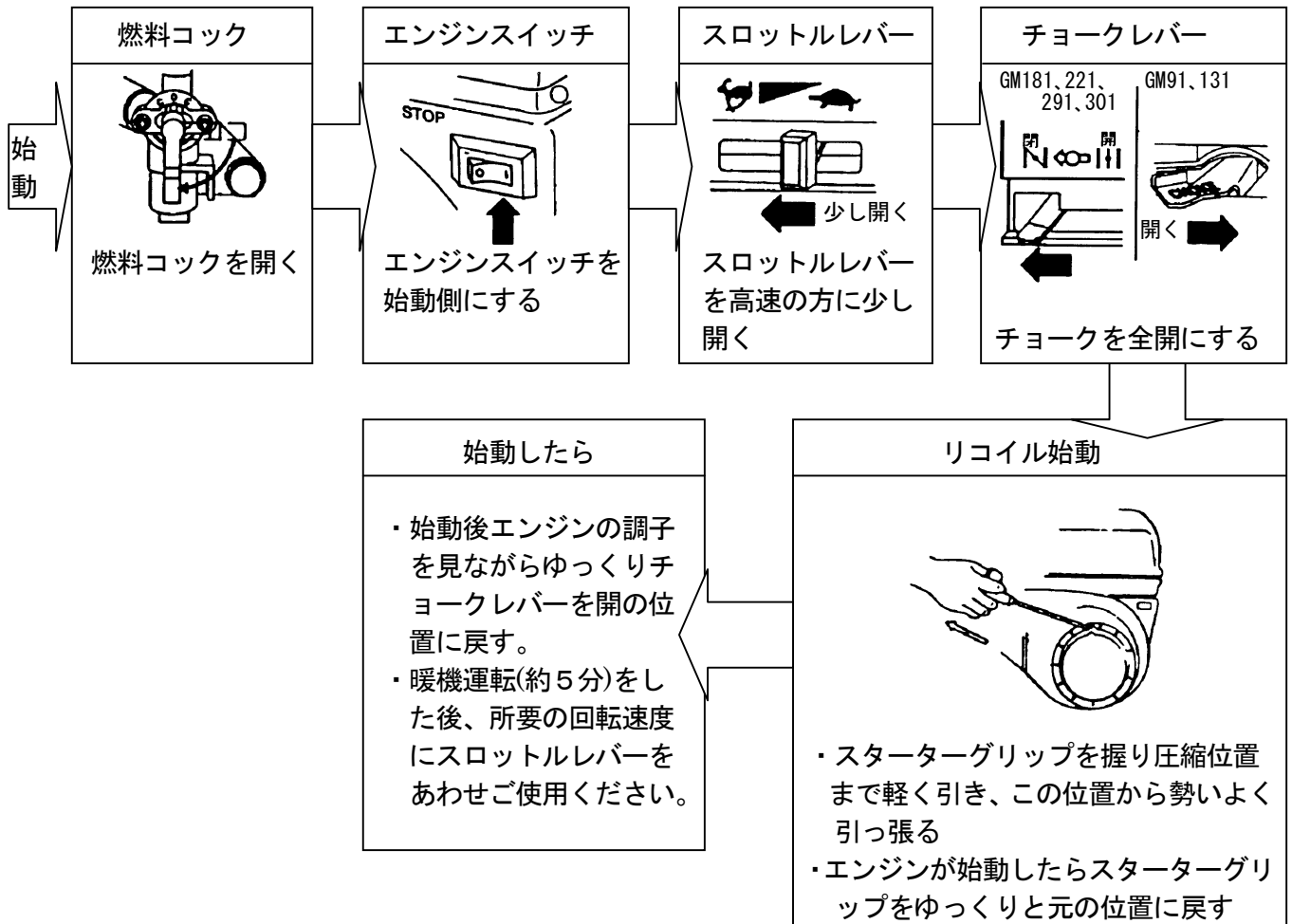
## 4-3 作業開始

### ⚠️ 注意

周囲の建物、車等大切な物に飛散した塗料が付着しないよう塗装現場の養生(養生ネット張り、保護カバーシートかけ等)は必ず行ってください。  
ホース破損による塗料噴出にも備えてください。

#### ①エンジンの始動

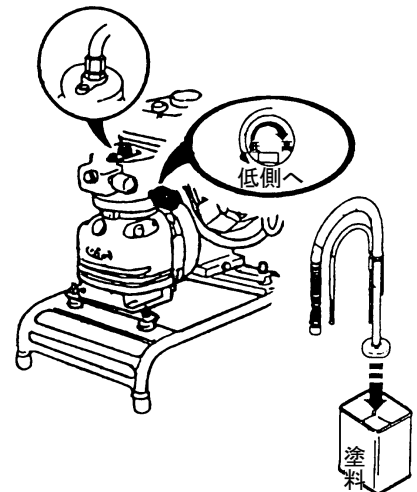
エンジンの始動は、別冊エンジンの取扱説明書をよく読み注意事項を守ってください。



②吸入弁作動確認後、圧カノブを[低]側に戻し、サクシオンホース、リターンホースをあらかじめ用意した塗料の中に入れます。

### 👉 留意

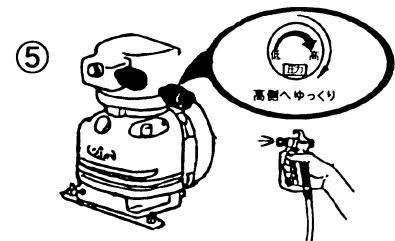
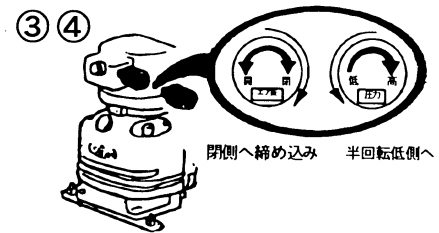
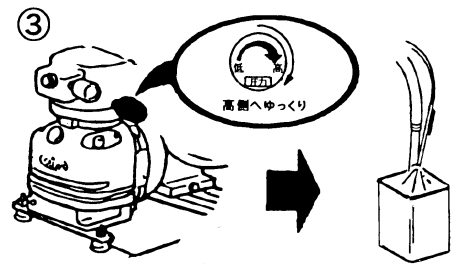
- リシン等の骨材入りの塗料は使用できません。
- 二液性の塗料は可使時間に注意してください。可使時間内に作業を終了して洗浄を行ってください。
- 塗料を攪拌する時エアが混入しないよう注意してください。エアが混入しますと吸込み不良の原因になります。



# 4 作業操作手順

## 4-3 作業開始

- ③エア抜きノブが「開」側になっている事を確認後、スイッチを入れ圧力ノブをゆっくり「高」側に回すとノズルから塗料が出てきます。
- ④圧力ノブを半回転程「低」側に戻します。
- ⑤エア抜きノブを「閉」に締め込みます。
- ⑥エアレスガンの引金を引きながら、圧力ノブをゆっくり「高」側に回すとノズルから塗料が出てきます。一度ガンの引金を戻して圧力を設定します。
- ⑦圧力ノブを塗装に適した圧力に調整し作業を開始します。



### 留意

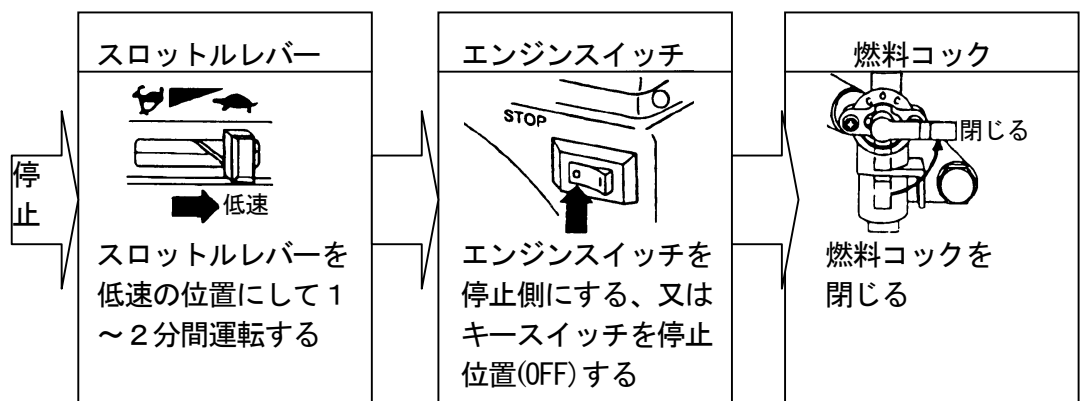
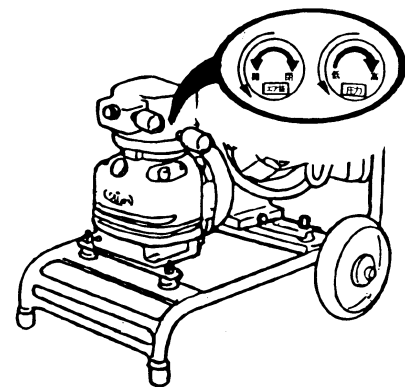
- エア抜きノブで圧力の調整はしないでください。塗料の温度上昇や弁の早期磨耗につながります。

### 注意

- 作業を行わない時や、ノズルを交換する時は危険防止の為必ずエアレスガンのセーフティロックをかけてください。
- 作業中は換気を十分に行い、風通しの良い場所で行ってください。また、健康の為にも防じんマスクを着用してください。
- 圧力ノブは最大限以上に強制的に強く回さないでください。過負荷により故障の原因になります。

## 4-4 中断・停止

- ①圧力ノブを「低」側に回します。
- ②エア抜きバルブを「開」側に回します。
- ③スロットルレバーを低速の位置にして1～2分間運転します。
- ④エンジンスイッチを停止側にします。又はキースイッチを停止位置(OFF)にします。
- ⑤燃料コックを閉じます。



# 4 作業操作手順

## 4-5 洗浄・終了・手入れ

- ①エアレスガンのセーフティロックをかけ、ノズルチップを外します。
- ②エア抜きノブが[開]、圧力ノブが[低]側になっている事を確認後サクシオンホースを洗浄液の中に入れます。

### 注意

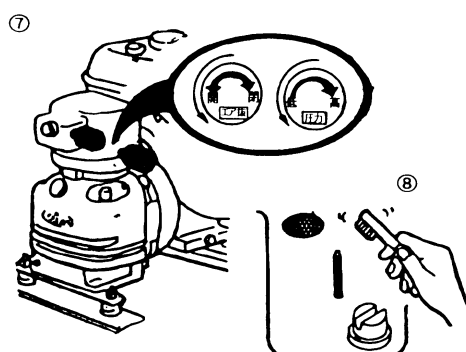
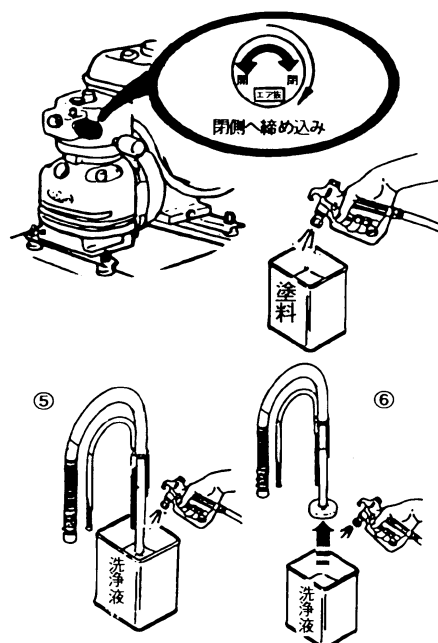
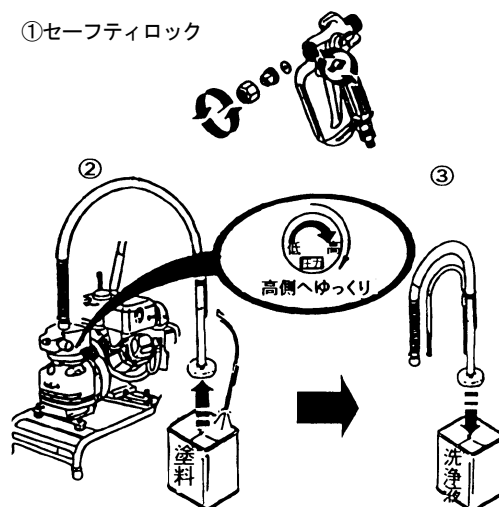
- 洗浄液とは塗料に適したシンナー・水等の事です。
  - ・油性塗料⇒シンナー
  - ・水性塗料⇒水
- 塗料、洗浄液が飛び散らないよう圧力は上げすぎないでください。

- ④リターンホースから洗浄液が出てきたらエア抜きノブ[閉]側に締め込み、エアレスガンの引金を引いてホース内の塗料を出します。
- ⑤ガンの先端から洗浄液が出てきたら、その状態でしばらく洗浄液を循環させ、塗料通路内の洗浄を行います。
- ⑥サクシオンホースを洗浄液から引き上げ、エアレスガンから塗料ホース内の洗浄液を抜きます。
- ⑦エア抜きノブを[開]側に回して、リターンホース内の洗浄液を抜き、圧力ノブを[低]側にして終了します。
- ⑧サクシオンフィルター、ガンフィルター、ノズルを取り出してゴミや塗料の詰まりを洗浄、除去してください。

### 注意

- 長時間使用しない場合は、洗浄液を完全に抜き取り固着防止の為サビ止め油を吸入弁内に充てんしておいてください。
- 廃塗料、使用済み洗浄液は絶対に川、下水等に流さないでください。排気処理業者に引取りを依頼してください。

①セーフティロック



# 4 作業操作手順

## 4-6 エアレスガンの操作

①

ガンは塗装面に向けて、約30cmの間隔を保ち、一定の速さで平行に移動します。

②

付属工具使用

ノズルチップとガンフィルターの取外しは図の様にしてください。ノズルチップが詰まった場合は、ノズルチップを外してエア等逆方向から吹付けて除去してください。取付の際には、パッキンが入っているか確認してしっかり締付けてください。

**注意**

- 圧力がかかった状態では絶対にノズルチップの交換やフィルターの取外しはしないで下さい。塗料が噴出し危険です。
- 使用後は、次回に備えて必ず洗浄し、大切に扱ってください。ハンドル内部のガンフィルターは取外してブラシ等で洗浄してください。

## 4-7 クランプノブの使い方

スプレーロック (連続吹付)

クランプノブ

引金

引金を引いた状態でノブの矢印がガンの先先を向くように回しながら引金を離します再度引き直せば自動的に解除されます。

セーフティロック (安全停止)

クランプノブ

引金

引金を引かない状態でノブの矢印がハンドル側を向くようにします。

**注意**

- 安全の為塗装作業を行わない時やノズルチップを外す場合は必ずセーフティロックをかけてください。
- 塗料等が固着すると動かなくなることがありますので、洗浄・注油等を行ってください。

## 4-8 ノズルチップ口径とガンフィルター※ガンフィルターはオプションとしても用意しております。

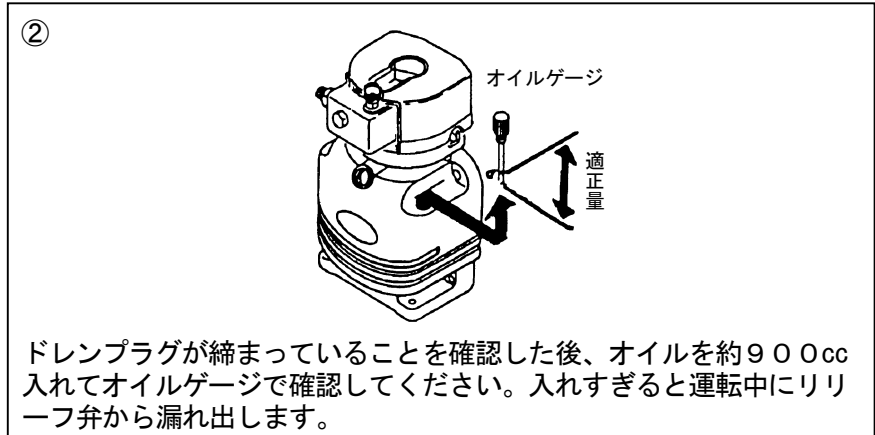
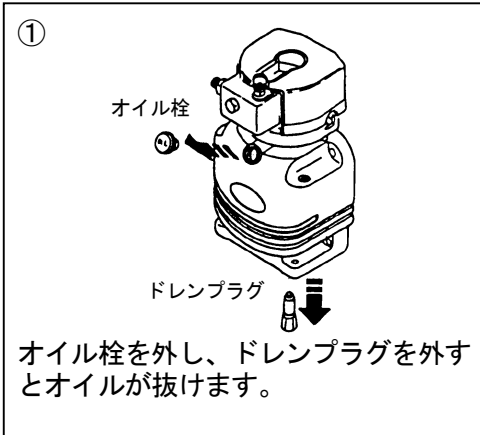
チップ口径 インチ (mm)	フィルター メッシュ/リング色	適応塗料 (注1)
0.013 (0.33) 以下	※200/赤	ラッカー系・ウレタン系・フタル酸系・メラミン系・合成樹脂系
0.013 (0.33) 以上 0.018 (0.46) 以下	※100/黄	一般サビ止め類・シーラー・塩ビ系
0.018 (0.46) 以上 0.026 (0.66) 以上	60/白	一般系タールエポキシ・ エアレス用プラサフ・アルコール系無機ジンク
0.026 (0.66) 以上	※40/緑	圧塗型タールエポキシ・各種高粘度塗料
0.031 (0.79) 以上	なし	弾性タイル・フィーラーアルマネーション・ 延焼防止塗料・水性無機ジンク

(注1) 本スーパーシリーズ全てが適応するわけではありません。目安としてご利用ください。

# 5 保守点検

## 5-1 オイル交換

オイル交換は定期的に行ってください。初回100時間、次回からは200時間毎

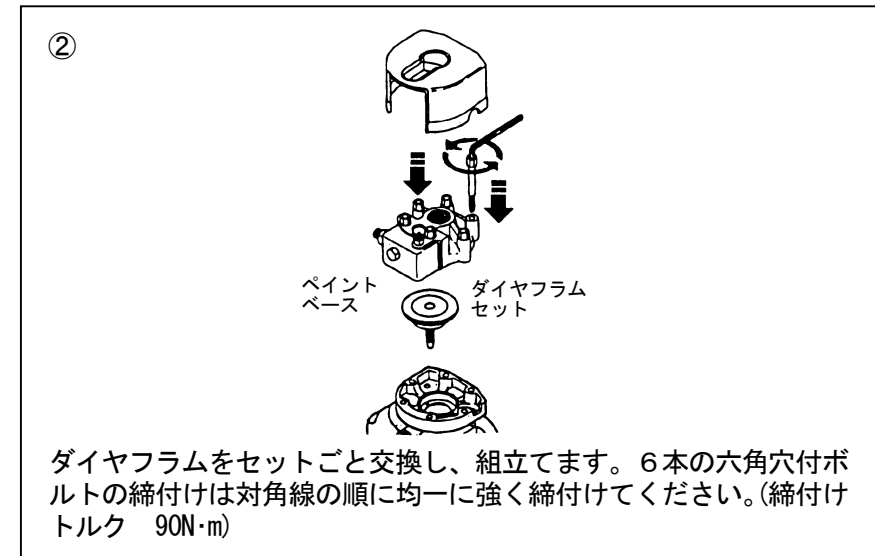
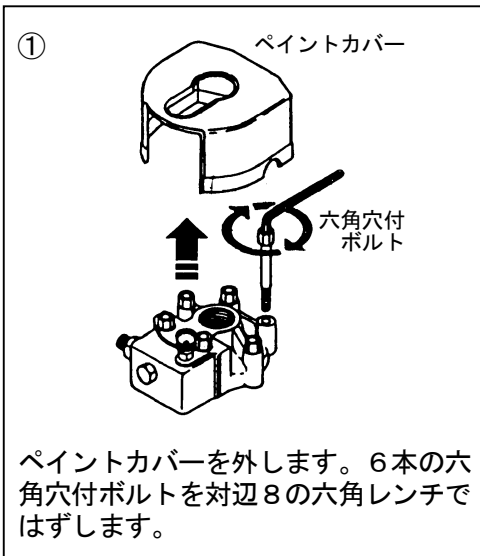


### 注意

- 使用済みのオイルは最寄りのガソリンスタンドにお持ち下さい。絶対に川、下水等に廃棄しないでください。
- オイルはセイワ純正「ダイヤフラムエアレスオイル」をお使い下さい。純正オイル以外は使用しないでください。異常高温や性能の低下、更に故障の原因となり、製品寿命を短くします。

## 5-2 ダイヤフラム交換

ダイヤフラム交換は定期的に行ってください。使用后1年又は実動500時間後

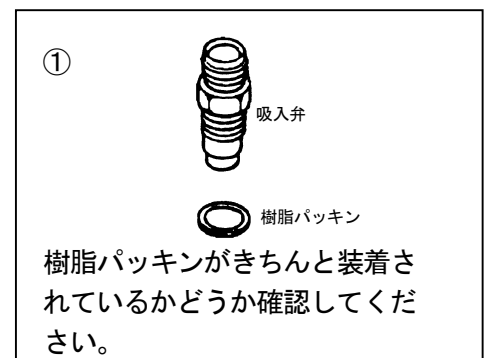
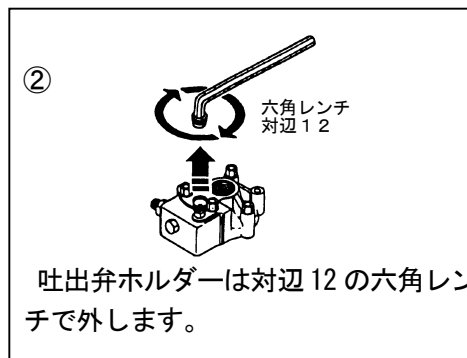
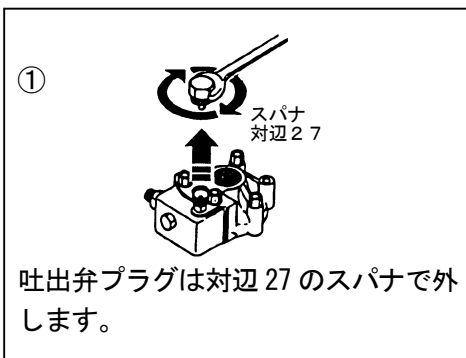


## 5-3 吐出弁交換

塗料によって粒子や骨材が含まれる場合は吐出弁が著しく磨耗することがあります。

## 5-4 吸入弁交換

吐出弁同様、塗料によっては著しく磨耗します。吸入弁セットで交換してください。



## 6 トラブル対策(エンジン側)

故障はできるだけ早期に発見して適切な対策を取ることが大切です。次の表を参考に処置して下さい。修理不能な場合は弊社営業所、又はお買い上げ販売店までご連絡ください。

現 象	原 因	対 策
エンジンがかからない エンジンが止まってしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●塗料ホースに残圧がある</li> <li>●燃量切れ</li> <li>●燃量温度の上がりすぎ</li> <li>●エアークリーナーの汚れ</li> <li>●点火プラグの花火が飛ばない</li> <li>●タンク内に水が溜まっている</li> <li>●エンジン焼付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「エアー抜き」にして残圧を逃がす</li> <li>●燃料を補給する</li> <li>●直射日光を避け、日陰に機械を設置する</li> <li>●掃除</li> <li>●交換又は電極間隔を 0.6~0.7 に調整</li> <li>●新しい燃料に交換</li> <li>●交換</li> </ul>
エンジンが止まりそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●圧力のかけすぎ</li> <li>●回転部分の損傷、磨耗、摩擦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適正圧力に調整</li> <li>●スロットルを全開にする</li> </ul>

## 6 トラブル対策(ポンプ側)

現 象	原 因	対 策
吸入力がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エア－抜き操作を行っていない</li> <li>●吸入弁・吐出弁の固着</li>   <li>●圧力ノブが[低]側に緩んでいる</li> <li>●油圧系統にエア－がたまっている</li>   <li>●オイル量不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エア－抜き操作を行う</li> <li>●呼び水を行い、吸入弁を棒で突っついて固着を解除する</li> <li>●圧力ノブを少し[高]側に回す</li> <li>●P6 作動確認を参考にエア－抜きをする</li> <li>●規定量まで入れる</li> </ul>
吸力はあがるが吸込まない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サクシヨンフィルターの目詰まり</li> <li>●サクシヨンフィルターの取付不良によりエア－を吸込んでいる</li> <li>●サクシヨンホースが塗料中に入っていない</li> <li>●塗料粘度が高すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●掃除</li> <li>●十分に締め付ける</li>   <li>●塗料中に入れる</li>   <li>●粘度を下げる</li> </ul>
ガンから塗料が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サクシヨンフィルター通路の目詰まり</li> <li>●ノズルチップの塗料詰まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●掃除又は詰まりを除去</li>   <li>●掃除</li> </ul>
圧力が低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エア－抜きノブの締め不足</li> <li>●圧力ノブの調整不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●増締め</li> <li>●圧力ノブを[高]側に回す</li> </ul>
圧力が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸入弁・吐出弁の不良</li> <li>●ダイヤフラムの損傷</li> <li>●ピストンシリンダーの磨耗</li> <li>●油圧通路内にゴミ混入</li> <li>●サクシヨンホースの不良</li> <li>●吸入口よりエア－を吸込んでいる</li> <li>●オイル量不足</li> <li>●塗料通路内にゴミ混入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交換</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> <li>●分解・洗浄</li> <li>●交換</li> <li>●十分に締め付ける</li> <li>●規定量まで入れる</li> <li>●ゴミ除去</li> </ul>
吹付けた塗面に オイルが浮いてる オイルが塗料で濁る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ダイヤフラム亀裂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●洗浄及びダイヤフラム、オイル交換</li> </ul>

# 7 塗料ノズルチップ選定表

粘 度	塗 料 種 類	適応 ノズル口径 (インチ)	よく使われているノズルタイプ			
			エアレス チップ	チェンク リン	ローリーチ ップ	ターン クリーン
低	ラッカー	0.019	○	○	○	
	フタル酸樹脂塗料	~	○	○	○	
	メラミン	0.013	○	○	○	
	アクリル など		○	○	○	
中	建築塗材用		○	○	○	○
	トップコート・シーラー		○	○	○	○
	一般錆止め塗料	0.015	○	○	○	○
	鉛丹錆止め塗料	~	○	○	○	○
	水性塗料	0.018	○	○	○	○
	油性塗料		○	○	○	○
	合成樹脂調合塗料 など		○	○	○	○
高	鉛丹錆止め塗料		○	○	○	○
	船底塗料	0.021	○	○	○	○
	塩化ゴム	~	○	○	○	○
	アクリルフィーラー<エアレス用>	0.023		○	○	○
	タールエポキシ樹脂塗料<一般>			○	○	○
	単層弾性塗料 など			○	○	○
	アクリルフィーラー<エアレス用>	0.023		○	○	○
	単層弾性塗料	~		○	○	○
	ジンクリッチ塗料 など	0.031		○	○	○
	屋根用重防蝕塗料<アルマニオン>	0.036			○	
高粘度塗料用	~			○	○	
複層弾性塗料のベース吹き など	0.051			○	○	

## 留意

選定表は、塗料の粘度・ホースの長さ・規模により変わることがありますので、選定の目安としてご利用ください。適応ノズル口径は機種能力に合ったサイズの中から選定してください。



SP シリーズの運転開始前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入して下さい。  
点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	SP-60GE/101GE/70GE	ご使用開始年月日	
製造番号		ご購入先	TEL ( )
ご購入年月日			

## アフターサービスについて

### 保証規定

#### 1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

#### 2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

#### 3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

### ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～  
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。  
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、  
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

- ・登録場所/精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



### 修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

## SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348  
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	携帯	090-3212-9902
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	携帯	080-1838-8248
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	携帯	090-7404-1915
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	携帯	080-1838-8248
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	携帯	080-1838-8248
岡山	710-0841	倉敷市堀南606-1	携帯	090-8855-1690
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	携帯	090-8855-1690
エス・ティール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	携帯	090-2515-0068
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	携帯	080-1794-4141